

## 第6学年 国語科学習指導案

平成30年5月30日（水）第5校時  
授業者 馬淵 麻衣子

### 1. 単元名

筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう

### 2. 教材名 「笑うから楽しい」

「時計の時間と心の時間」

### 3. 指導の立場

本教材は、いずれも学習者の日常に近い題材を扱っており、児童が自分の生活に結び付けて、自分なりの考えをもちやすい内容となっている。心身の健康とも関係する内容で、中学生になる前に、自分自身の心と体のあり方に目を向けさせるきっかけにもできる。また、心理学の専門的な知見を学習者にも分かりやすくかみ砕きつつ、それらを根拠として筆者の主張が述べられている。「時計の時間と心の時間」では、図表などを用いる工夫もしている。そうした意味で、これらは「話すこと」や「書くこと」のモデルにもなる。

児童はこれまでに、5年「天気を予想する」では、筆者の説明の工夫点を見つけるとともに、その効果について話し合うという学習を行ってきた。説明的な文章の学習では、筆者の意図を捉えたり、要約や要旨をまとめたりして、正確に文章を把握することを学習してきた。ここではさらに、自分の経験と筆者の考えを結びつけながら読み、読み手自身の考えたことなどを発表するところまでの学習内容にしていく。

さらに、本単元では筆者の考えに対する自分の考えを、生活や経験を振り返りながら具体例を挙げて発表するという言語活動を見通し、筆者が挙げる事例でより説得力をもたせることができることをとらえさせたい。私たちが生活の中で感じることや実験結果などの事例をあげることで、自分の考えをより分かりやすく伝えることができる。そのことを理解した上で、読んだことを書くことにつなげる流れにする。児童が文章を読んで、自分の生活や経験をもとに、その内容に対して考えや意見をもち発表し合う。自分の考えを広げ深めることを重点として考え指導にあたりたい。

## 4. 研究内容の視点から

### ○研究内容1に関わって

全7時間での単元指導計画となる。第一次では、「笑うから楽しい」を通して学習の流れをつかみ、長文になる「時計の時間と心の時間」の学習につながるようにする。第二次では、本単元で身に付けなければならない力「挙げられた事例に気をつけて筆者の考え方を捉えて読む」を軸として、「時計の時間と心の時間」を読んでいく。その際、なぜ読んでいくかということ、第三次で筆者の考えに対する自分の考えを、具体例を挙げて発表するからという点を明確に示し、必然性をもたせたい。

### ○研究内容2-（1）①に関わって

#### ①言葉に着目する

「読みのかぎ」を手立てとして筆者の説明の工夫を読み取る。言葉、構成、図や写真と文章をつなげ、どこがどう工夫されているのかを把握する。毎時間、「読みのかぎ」を足場とすることで、支援が必要な児童のヒントにもなる。掲示物を活用して、いつでも確認できるようにする。

### ○研究内容2-（2）②に関わって

#### ②意図的なグループ交流

筆者の考えに対する自分の考えをノートに書く。  
(その際に3つの観点について書く。)その考えをグループで交流する。(グループは、日常的な題材で話し合わせたいという願いから、生活班で交流する)、全体交流を通して仲間の考えと自分の考えとを比較しながら聞き、自分の考えを深める。全体交流を設定したのは、より多くの仲間の考えを知るためである。

#### 3つの観点

- ・事例に関すること
- ・図表に関すること
- ・文章構成や表現に関すること

## 5. 単元指導計画

### ●単元の指導目標

- 筆者の主張と事例などについて、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。
- 事例として挙げている現象が、どのような原因によって起きているのかを、思考に関わる語句に注目しながら把握することができる。

単元を貫く課題：筆者の考えを捉え、その考えをもとに自分の考えを伝えよう。

相手：クラスの仲間

目的：筆者の考えを捉え、自分の考えを伝えるために

	時	学習活動	評価規準(評価方法)
第一次	1 2	①学習課題を確かめ、学習計画を立てる。 ②「笑うから楽しい」を、語句の意味を確かめながら読む。 ③筆者の考えを捉え、挙げている事例との関係を考える。 ④自分の意見をもつ。	【関】自分の考えをもちながら文章を読んでいくことに意欲的に取り組もうとしている。(観察・ノート) 【読】筆者の考えを捉え、それに対する自分の考えをもっている。(ノート)
第二次	3 4 5	⑤「時計の時間と心の時間」を読み、初発の感想を書く。 ⑥筆者の主張を捉える。 ⑦「時計の時間」「心の時間」とは何かを、事例を確かめながら押さえる。 ⑧筆者の考えに対する、自分の考えをもつ。 ⑨筆者の説明の工夫を押さえる。	【読】筆者のいう「時計の時間」「心の時間」を的確に読み取っている。(発言・ノート) 【読】筆者の表現の工夫から、筆者の意図を読み取っている。(発言・ノート) 【言】筆者がどのような構成で考えを述べているのかを理解している。(発言・ノート)
第三次	6 7	⑩筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 ⑪自分は「時間」についてどのような考えをもったかをまとめる。 ⑫グループ内で自分の考えを発表し、感想を述べ合う。 ⑬単元の学習を振り返る。	【読】筆者の考えに対する自分の考えをまとめている。(ノート・発表) 【言】考えを交流することで、自分の考えを広げたり深めたりしている。(発言・ワークシート)

## 6. 本時の展開 ( 5 / 7 )

### (1) 本時のねらい

読者を納得させるために、筆者がどのような書き方の工夫をしているのか捉えることができる。

### (2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ	今までの学習をふり返り、本時の課題をつかむことができる。	1. 前時までの学習をふり返り、本時の課題をつかむ。 2. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">読み手に納得してもらうために、筆者が工夫したことを見つけよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示や自分のノートを活用して、ふり返る。</li> </ul>
さぐる	課題の内容を考えながら一人読みをすることができる。  どんな事例を挙げて説明しているか、観点ごとにノートに書くことができる。	3. 一人読みをする。 ◇筆者が読者を納得するために、どんな工夫をしているのか、効果をもとに考え、自分の意見をまとめる。 ・「説明文の読みのかぎ」に着目して、筆者の工夫を考える。  4. グループで交流する。 ◇自分の考えを生活班の仲間と交流する。 (事例に関すること) ・事例をあげることで、「心の時間」の特性がよく分かる。 ・身近なことや、誰もが経験していそうなことを具体例として挙げているので、自分の経験を振り返って共感することができた。 ・実験の結果をあげているので説得力があり、筆者が言っていることが正しいと思った。 (図表に関すること) ・人は時間帯によって感じ方が違うことをグラフに表しているの、よく分かった。 ・刺激の実験のことを図に表しているの、文で読むより分かりやすい。 ・刺激の実験の図は、ちょっと難しいと思った。 (文章構成や表現に関すること) ・事例についての段落では、心の時間の特性について全部1文目に書いてあるので、分かりやすい。 ・読み手に呼びかけるような言葉をつかっているの、自分もいっしょになって考えるようになる。 仲間の考えを、自分のノートにメモをする。  5. 全体交流をする。 ◇それぞれのグループの考えを発表する。 ・グループごとに考えを発表し合う。 ・筆者の内容や工夫した点、納得するところを根拠をもとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「説明文の読みのかぎ」から、使えそうなものを全体で確認し、一人読みで活用できるようにする。②、③、⑥、⑨⑩</li> <li>・グループで交流することにより、全員が考え発言できるようにする。</li> <li>・グループ交流では、事例と伝えたいことがつながっているか、仲間の意見を出しながら考える。</li> <li>・活発な交流ができないグループには、「読みのかぎ」をヒントに考えられるようにする。</li> <li>・見つけた工夫のよさや効果も考えることで、読者がより納得できることを押さえる。</li> </ul>
まとめる	本時の学習の内容をまとめに表すことができる。	6. 本時のまとめをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>筆者の工夫</b>            ①読者に呼びかけるような書き方をしている。            ②文章だけではなく、図や表を使っている。            ③経験や実験などの分かりやすい事例を挙げている。         </div> 7. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の事例によって共感できる内容を増やしたり、分かりやすい事例から並べることで読み手への説得力をもたせたりしていることに気づかせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           評価規準・評価方法  <b>【読むこと】</b>            ・筆者の工夫を2つ以上見つけている。            ・その工夫のよさを仲間と交流している。(ノート・発言)         </div>